



奉仕の心で

校長 尾崎 淳一

「奉仕」という単語を調べてみると、「自己の利益を求めず、他者や社会のために無償で行う行為や活動」とあります。私たち教員も、「すべて職員は、全体の奉仕者として公共の利益のために勤務し、かつ、職務の遂行に当たっては、全力を挙げてこれに専念しなければならない。」と法律で定められており、常に国民のために働かねばなりません。

先日、**竜北3年生の皆さん**が「奉仕活動」に取り組みました。心の美しい、素敵な皆さんですから、「毎年やっているから」「先生に言われたから」などの理由ではなく、「**3年間お世話になった竜北中学校への感謝を、行動で示したいから**」という**崇高な思い**を体現したものでしょう。そうですね……。その活動場所の一つに、**【校長室】**も入れていただき、心より感謝しています。この一年間、私も校長室にはお世話になったので、お礼の意味を込めて、**校長室班**に参加したかったのですが、残念ながら出張と重なってしまいました。そこで、右のような**アイドルポスター**を作成して、**校長室班**の皆さんを応援しました。



翌朝、再び「**校長室班**」の4名が訪れ、廊下に出してある机や椅子、ソファなどを丁寧かつスピーディーに運び入れ、あっという間に元通りに復旧してくれました。そのチームワークと手際の良さはもはや「**プロフェッショナル**」と呼ぶべき、**大満足のクオリティ**でした。左の写真をご覧ください。薄暗い「非LED」の蛍光灯の光さえ綺麗に映るほど、ぴかぴかにワックスを塗ってくれました。**気持ちの籠った活動は、仕上がりも抜群ですね**。おかげさまで、私たちの会議も快適にゆっくりと行うことができるので、とても嬉しく思います。また、**校長室**にも来てくださいね。



最近、竜北中にも「**インフルエンザ**」の**新たな波**が押し寄せています。特に3年生は、明日から公立高校一般入試、来週末はいよいよ卒業式と、**人生の大きな節目**が控えていることもあり、健康に過ごしてもらいたいと、私は毎日お祈りしています。そこで、思い出したいのが、コロナ禍で意識していた「**新しい生活様式**」です。この頃は、インフルエンザに罹患(りかん)する人は、ほとんどいなかったように思います。**ちりゅっぴ**を見習って、**竜北生全員**で予防に心掛けていきましょう。いつも健康第一で、「**竜北生、Go!!**」

本校は11月にインフルの大波に襲われましたが、再び波が近付いています。3年生にとっては、残りわずかな中学校生活となりましたので、健康に過ごせることを願うばかりです。ご家庭においては、引き続きお子様の体調を丁寧に見ていただき、いつもと違う様子があれば、早めの受診と十分な休養をお願いしたいです。1・2年生も授業日は残り1か月ですので、一日を大切にしてください。



(令和8年2月24日)